

5 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	沼崎 祥久	参加 メンバー	CL:岸上 薫 SL:伊藤 千佳子 飯谷 洋子 沼崎 祥久
		報告日	06 / 06		
山 域	恵那山	山行日	10 年 05 月 29 日 (土)		
山 名	恵那山				
山行目的	やまびこ祭	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

05/29 曇り時々晴れ
05:30 本社 N1 駐車場集合
05:32 発
07:57 黒井沢登山口 P 着
08:17 黒井沢登山口スタート
09:13 一本
09:57 野熊の池 (一本)
10:58 一本
12:20 恵那山頂小屋 (昼食)
12:48 恵那山山頂
13:50 一本
14:24 野熊の池 (一本)
15:49 黒井沢登山口着
15:57 黒井沢登山口 P 発
16:20 あかまんまロッジ着

山行報告 朝 5 時半集合という早朝にもかかわらず、4 名全員が遅れずに集まり、岸上さんの車に荷物をして早々に出発する。途中すれ違うのも難しい細い山道を走行し、登山口に到着。
伊藤さんを先頭に、沼崎、飯谷、岸上の順に歩き出す。しばらくは川の近くをせせらぎ聞きながら気持ちよく歩を進めていく。途中に池があり、名を野熊の池という。ここで休憩を取ることになったが、岸上さんの百名山の本を下に山々の話で盛り上がり、25 分も休憩をとってしまった。
3 本目の休憩で岸上さんが「山頂の標高とほぼ同じ」の言葉に勇気付けられ歩いていくと前方に遥かに高い山が見え、「別のところを見ていた」と岸上さん。まだ 200m 登らなければならないことを知り疲れが増す。さらに 2000m を越えたあたりから足が重くなり、先頭の伊藤さんとの間があき、後ろの飯谷さんが「早く行かんか」と言わんがごとくぴたりとついてくる。
さらに歩を進めると恵那山山頂小屋に着き、ここが山頂かと一瞬喜んだが、どうも違うようである。はっきりした道標がなく、とりあえず前宮ルート方向に歩いていくが途中岸上さん一人で確認に行くとその先ではなく、もう一つのルートの広河原ルートにあるようである。

まず山頂小屋の前で昼食をすませ、山頂に到着。しかし、もともと回りを木々が覆って見晴らしが良くない上ガスがでて山頂の展望台でも景色を楽しむことはできなかった。同じ道を引き返し、途中の水場で湧き水を味わい、最後の長い林道を歩いて登山口に無事到着。

リーダー所見
リーダーとして、事前調べが甘かったことは反省点である。わかっていた事だが、ほとんど眺望はきかず、どちらかというトレーニング向けの山といえる。尚、メンバー全員、力強くスピード感を持って歩いていたので、次回の山行も楽しみである。



確認 (リーダー)
岸上
10/06/07

作成 (報告者)
沼崎
10/06/06